

経営の概要

1 学校経営の基盤

大内小学校は、平成28年4月、上川大内小学校と下川大内小学校の2校が統合し、新しい学校として開校した。開校5年目の今年も、コミュニティースクールの学校として、地域の願いや期待を受け止め、地域の多様な文化に積極的に関わることで優れた教育環境をさらに創り上げていく。ふるさとに誇りをもち、主体的に行動できる子どもの育成を目指し、地域とともにある学校づくりを進める。

(1) 地域の概要

校舎は、旧大内町の中心地であるJR羽越線羽後岩谷駅より北西に約10kmの地点に位置し、校舎脇を国道105号線が走っている。旧大内中学校の校舎を1年かけて改修した校舎である。

学区は、芋川沿いに広がる農村地帯で、芋川上流の上川大内地区と中流の下川大内地区の二つから成り、広範囲にわたる。北は秋田市雄和方面、東は大仙市南外地区、南はへ横手市大森地区に接する地域に集落が散在している。また、豊かな自然環境に恵まれ、県指定天然記念物の植物や市指定無形民俗文化財の梵天や番楽などの伝統文化が残っている自然と文化の宝庫でもある地域である。

住民のほとんどが兼業農家で、三世代家族の形態をなしている。祖父母が農業に従事し、父母が会社員や諸官庁等に務めている家族が多い。地域には、素朴な人情が息づいており、PTA活動や諸行事・奉仕活動へも協力的である。保護者をはじめ、地域の人々は学校教育に寄せる関心も高く、地域全体で子どもたちを見守っていこうという気風がある。また、地域に対する所属意識も大切にしている。

(2) 児童の実態

本校児童は、男子56名、女子46名、合計102名である。登下校は、一部は集団登校だが、学区が広範囲であるためと安全に通学できるよう、スクールバスの送迎車両が6台運行され、約8割の児童が利用している。スクールバスは中学校との混乗の路線もあるため待ち時間が長く、放課後に児童が安全に学校で過ごせるように「放課後子ども教室」（キピー大内小学校教室）を開設している。

子どもたちは、明るく素直で基本的な生活習慣は概ね身に付いている。上級生は下級生の面倒をよくみており、学年に関係なく親しい間柄である。また、物事への取組も意欲的で、誰にでも気持ちのよいあいさつができる。昨年度の取り組みから学びを学習や生活の中で生かそうとする意識の向上も見られるようになってきた。しかし、一方では、学習した知識や技能を活用する力や、自分の考えを相手に分かりやすく伝える事などに関してはまだ不十分であることも分かってきた。さらには、自尊感情や自己有用感が低かったり学年に応じた基礎学力が身に付いていなかったりする児童も少なくないという課題もある。

2 経営の基本方針

今年度は、子ども一人一人の主体性を引き出し、意欲を高めていくことを学校経営の柱にし、「4がい」をキーワードにして学校経営を進めていく。

学校の使命はいつの時代においても「学力の保障」と「成長の保障」であることに変わりはない。学力の保障を考えると私たち教師は子どもの学びの姿に着目する必要がある。子ども自身が主体的に学びに向かうから、やがて、それが力として一人一人に蓄えられるのである。翻って教師のすべき事は子どもの学ぶ力（学習意欲）を引き出すことであり、それは「分かる」授業を構築していくことに他ならない。子どもたちが「学びがい」を感じ、主体的に生き生きと授業を楽しむ姿を求めて知的好奇心を高められる、分かる授業づくりに取り組んでいく。

また、成長の保障を考えると体を鍛え育てると共に、人間関係づくりや思いやりの心、集団のルールを守るなど、社会性を身に付けさせることが重要になる。子どもの姿で考えると「活動や関わりを通して達成感や成就感をもった満足した表情」「安心して学校生活を送り、友だちや教師との関わりの中で笑顔溢れる表情」をイメージしている。そのために、私たち教師は子どもたちに「やりがい」と「いがい」（自分の居場所があること）を提供できるように諸行事・諸活動を成長の保障に繋がるように目的を明確にし、計画・実践していく。

校章のコンセプトである「和と向上」は4がいを通じた実践の積み重ねによって具体化されるものと考えている。子どもたちの成長を「生きがい」として日々の実践を大切にする教師集団でありたいと考える。

3 学校教育目標と目指す姿

(1) 学校教育目標

自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

(2) 目指す子ども像

よく学び よく遊び 瞳輝く子ども
<挨拶・返事 感謝 努力 >

- 「なぜ」「どうして」「どのように」を考え、学び続ける子ども（知）
- 友だちを大切にし、共に関わり、高め合い、仲良くできる子ども（徳）
- 心と体をきたえ、粘り強く、一生懸命がんばる子ども（体）

(3) 目指す学校像

■4がいのある学校～学びがい・やりがい・いがい・生きがい

- 子どもの学びと成長を保障する学校
- 子どもが安全に安心して過ごせる人に優しい学校
- 全校体制で子どもの成長に資する組織力の高い学校
- 家庭・地域・学校がお互いに協力して創り上げる開かれた学校

(4) 目指す教師像

■子どもの「やる気スイッチ」を入れることができる教師

- 子どもを愛し、子どもに寄り添う教師
- 子どもの思いや願いを大切にし、意欲を高める教師
- 研修に励み、高い専門性と人間性を追求する教師
- 子ども・保護者・地域に信頼される情熱ある教師

4 経営の重点と具体的施策

(1) 学び合う集団づくり（学級づくりを基盤にして）

- ①主体的・対話的で深い学びの実現につながる授業づくり
- ②主体的に学び、自分の考えを積極的に発言する態度の育成
- ③温かな人間関係や支え合う集団づくり
- ④基礎・基本の定着とそれを活用する能力の育成
- ⑤N I Eの成果を生かし、社会に関心を持ち、自分の考えを深め、言葉で表現する力の育成

(2) たくましい心身を育む教育の充実

- ①健康な体をつくる生活習慣の確立と食育指導
- ②運動への関心・意欲・態度の育成と体力向上施策
- ③自他の生命を守る安全意識・危機管理能力の育成
- ④チャレンジする気持ちや目標に向かって頑張る気持ちの育成

(3) 豊かな心を育む教育の充実

- ①基本的な生活習慣の確立、あいさつ・返事の励行
- ②道徳的実践力を高める各教科・各領域の効果的な指導
- ③自主性や社会性を育てる価値ある体験活動の充実
- ④自尊感情や自己有用感を育て意欲をもたせる場づくり

(4) 地域に開かれた学校づくりの推進

- ①地域諸団体との連携の充実・発展
- ②地域への貢献、町内会長宅への学校報の配布、行事への参加等を通じた開かれた学校づくり
- ③地域行事の参加、ふるさと学習の推進
- ④学校運営協議会、学校支援地域本部事業等を活用した地域住民の学校運営参画の推進